

CompareVolumeFractionソフトウェア

Ver.1.04

2020年11月20日

*HelperTex Office*

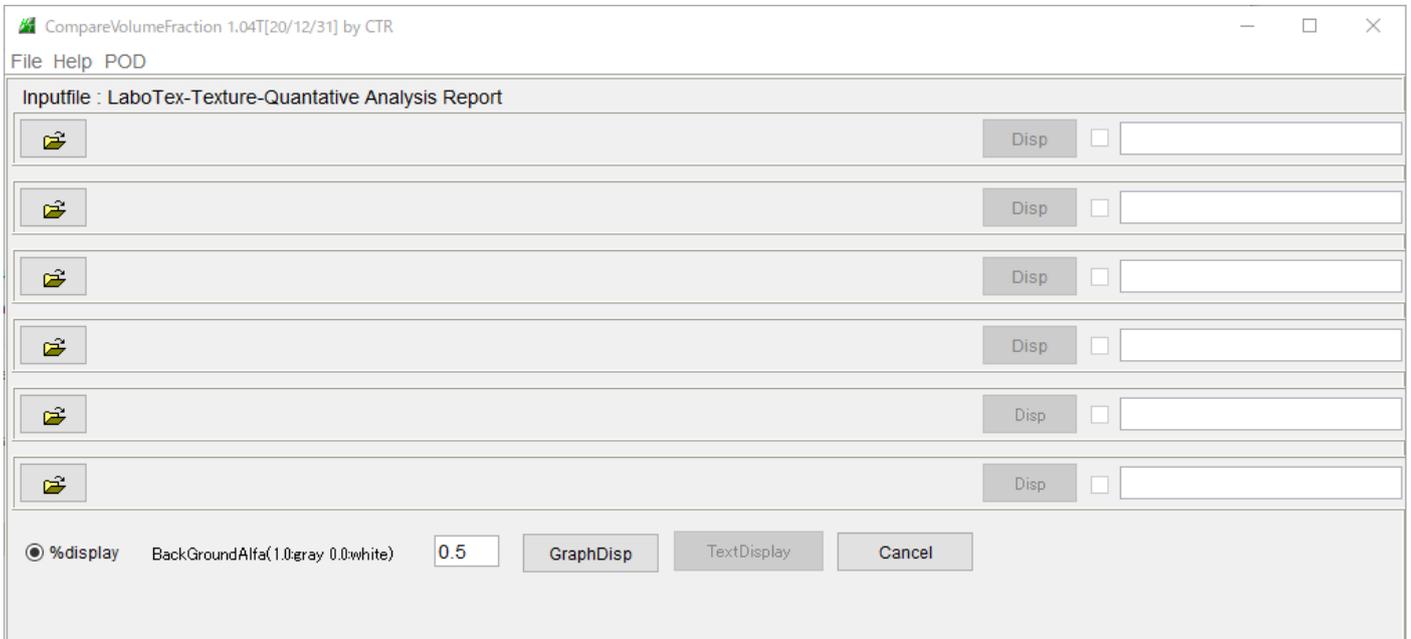
1. 概要
2. ソフトウェア
3. 入力データの作成
  3. 1 LaboTexのVolumeAFraction結果 (POD)
  3. 2 ODFVFG r a p hで作成する方位密度入力データ (TXT)
  3. 3 GPODFD i s p l a yで作成するファイル (CSV)
  3. 4 円G r a p hを比較する場合
4. LaboTexデータの入力
5. ODFVFG r a p hデータの入力
  5. 1 データ作成
  5. 2 データ入力
6. GPODFD i s p l a yデータを入力
  6. 1 データの選択
  6. 2 データ入力
7. 画面編集

## 1. 概要

CompareVolumeFractionソフトウェアは、LaboTexで解析したVolumeFractionファイル（POD）向けに作成していたが、ODFVFGraphソフトウェアで作成したファイル（TXT）とGPODFDisplayソフトウェアで作成したファイル（CSV）に対応しました。

LaboTexでは、VolumeFraction（体積分率）であるが、ODFVFGraphやGPODFDisplayでは方位密度であるため、%に変換しています。

## 2. ソフトウェア



## 3. 入力データの作成

### 3.1 LaboTexのVolumeAFraction結果 (POD)



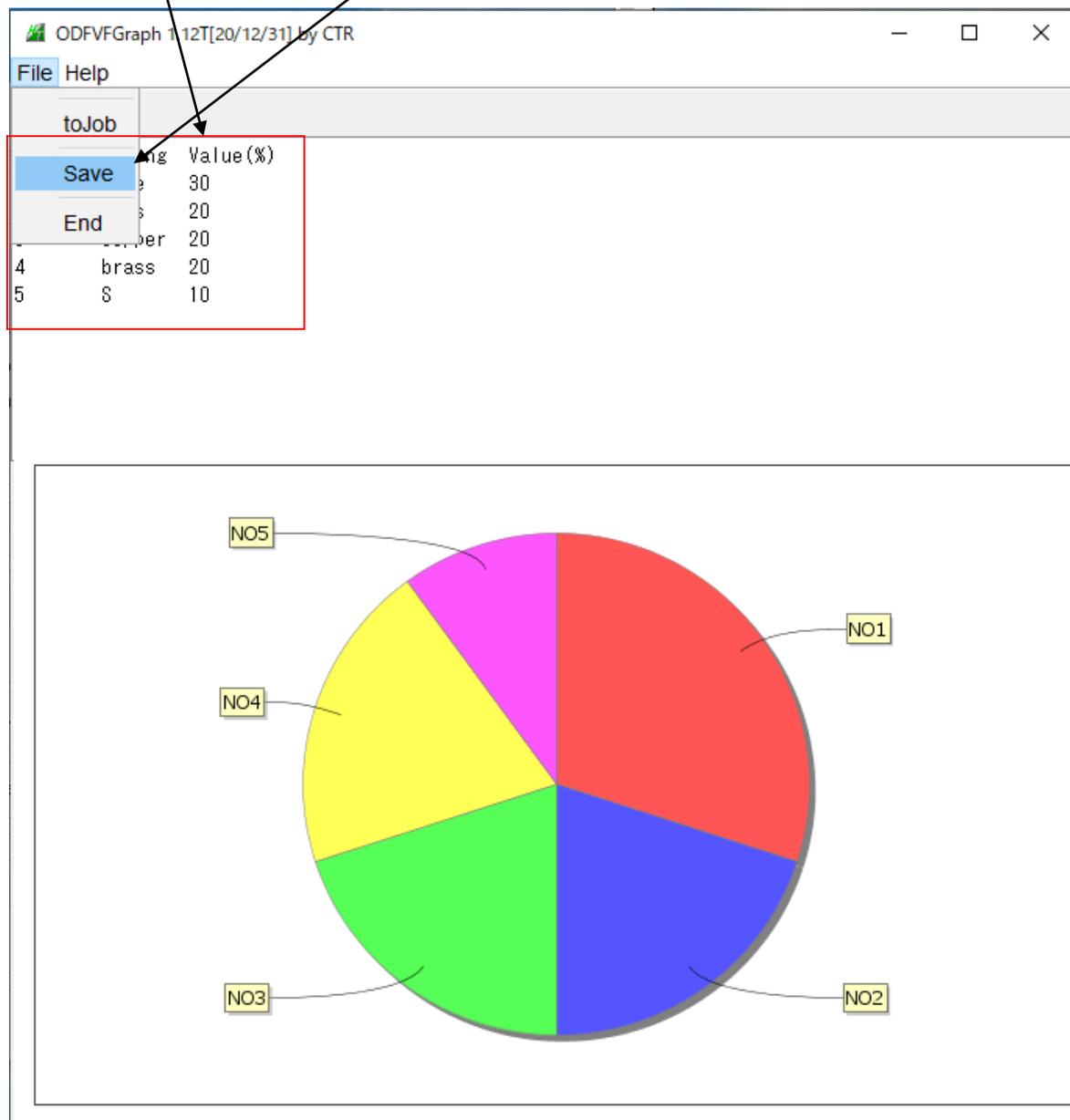
Volumfraction 解析を行うと POD ファイルが作成されます。

<< LaboTex2 >> USER > VFLAB > O-Cubic.LAB > Demo.LAB > AL-H.LAB > Job02

名前	更新日時	種類
AL-H.ODF	2020/11/20 18:20	ODF ファイル
AL-H.POD	2020/11/20 18:21	POD ファイル

### 3. 2 ODFVFG r a p hで作成する方位密度入力データ (TXT)

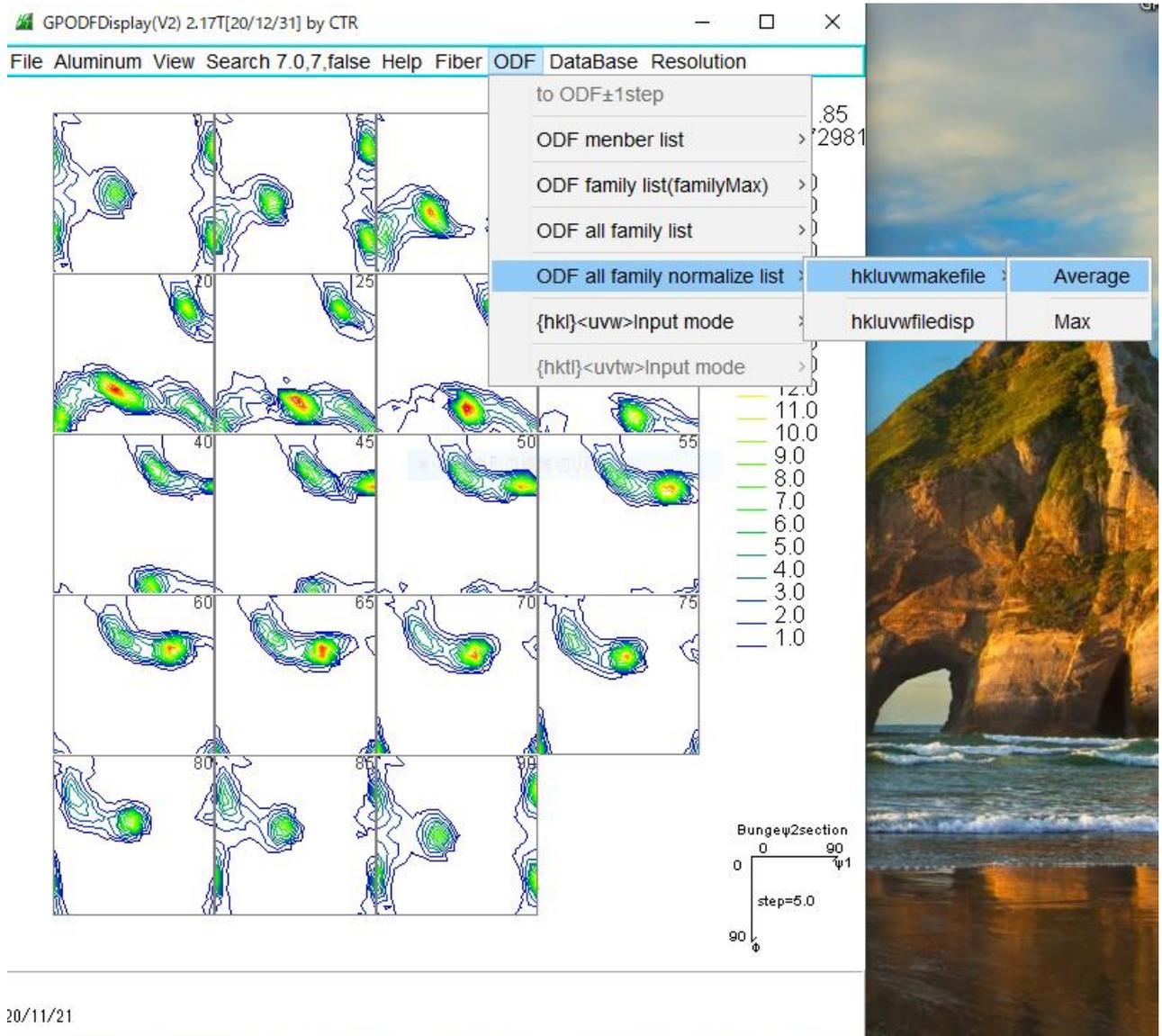
データを手入力し、結果を s a v eする (TXT)



%の合計が100に達しない場合、最後の相に加算されます。

### 3. 3 GPODFDisplayで作成するファイル (CSV)

方位密度が登録されるが、%ではないので、入力後%に変換する



### 3. 4 円Graphを比較する場合

比較対象のメンバー文字 (方位) を同一にしてください。

異なると、入力できません。

#### 4. LaboTexデータの入力

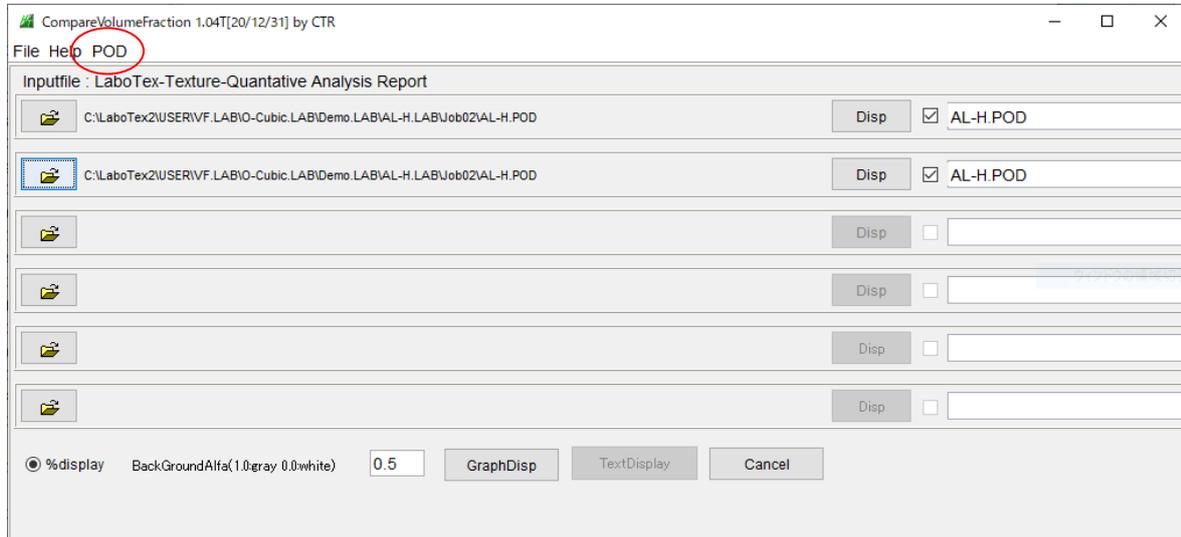
AL-H.POD - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

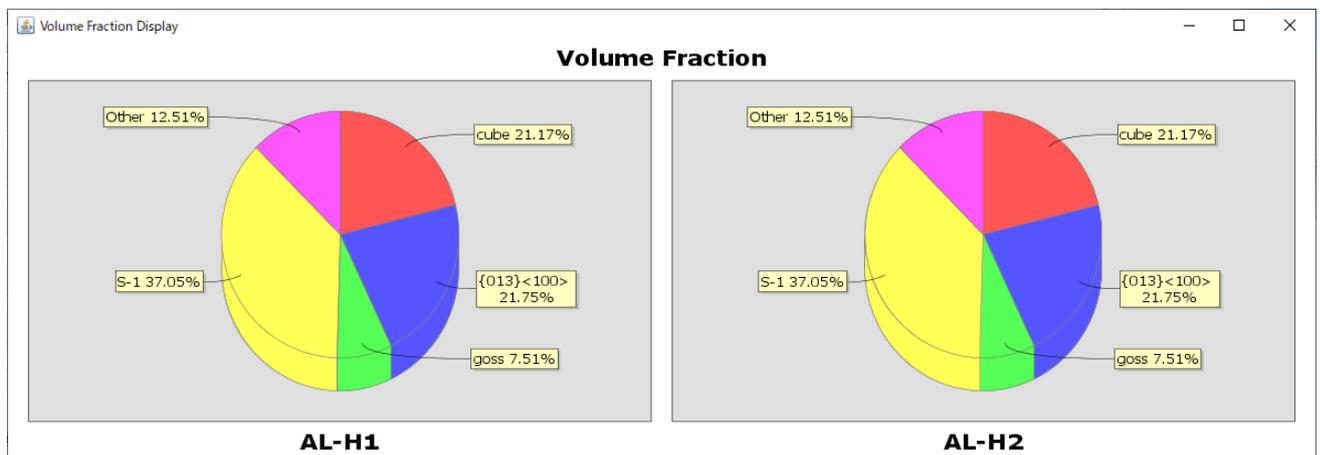
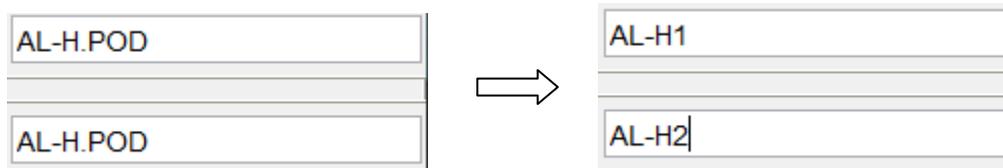
LaboTex - Texture - Quantitative Analysis Report

User: VF  
Project: Demo  
Sample: AL-H  
Job: 2  
Date:2020/11/20  
Time:18:21:09

Volume Fraction	FWHM Phi	FWHM Phi	FWHM Phi	Phi <sup>2</sup>	Orientation
Component No 1 - Distribution :Gauss 21.17	9.7	18.7	11.8	{ 0 0 1 } < 1 0 0 > cube	
Component No 2 - Distribution :Gauss 21.75	18.2	19.5	19.9	{ 0 1 3 } < 1 0 0 >	
Component No 3 - Distribution :Gauss 7.51	42.1	17.5	13.7	{ 1 1 0 } < 0 0 1 > goss	
Component No 4 - Distribution :Gauss 37.05	35.9	18.0	23.3	{ 1 3 2 } < 6 -4 3 > S-1	
12.51	Background Volume Fraction				



複数選択の場合、入力データの方角が一致していないと E r r o r になります。  
説明のため、同一データを入力します。  
ただし、表示名が同一では表示されません。

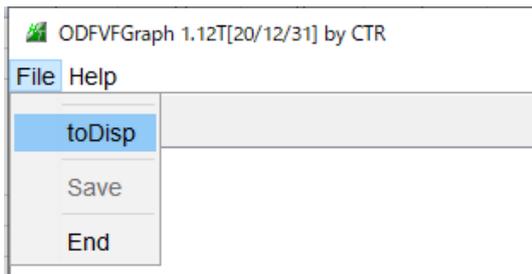


最大6ファイル比較が出来ます。

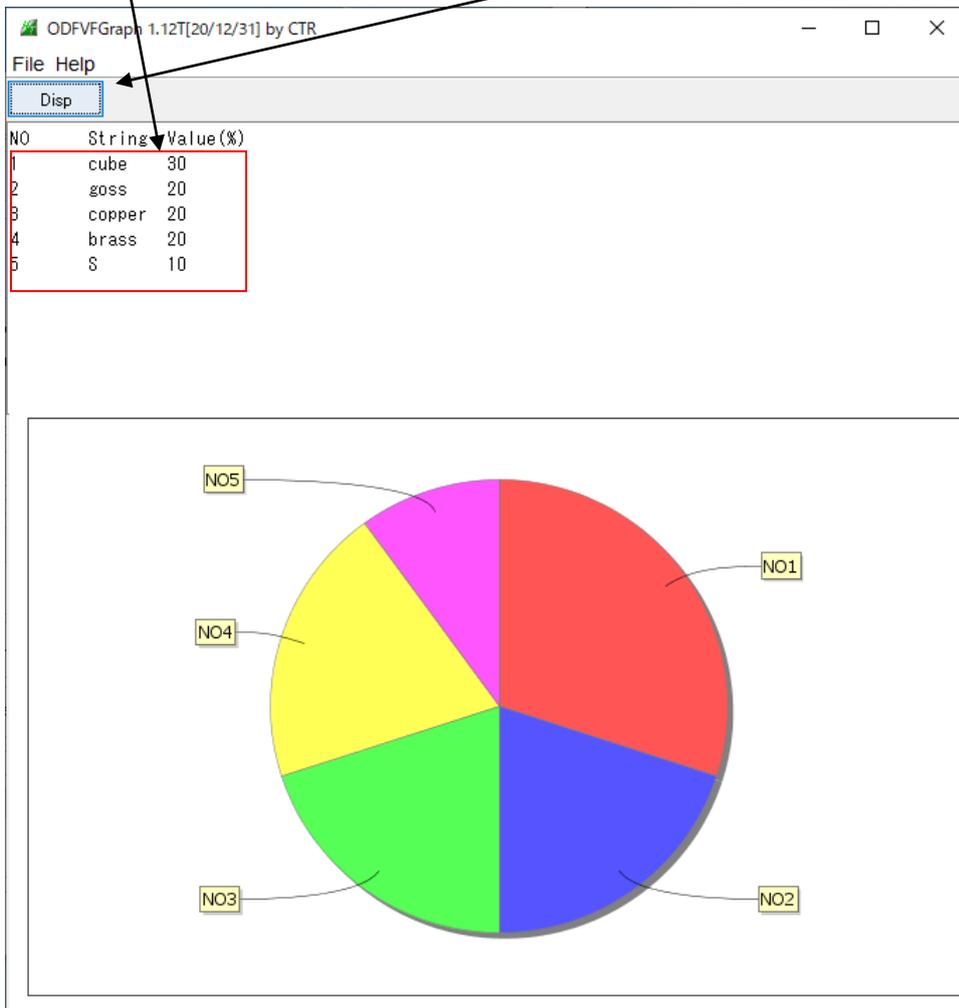
## 5. ODFVFG r a p hデータの入力

### 5. 1 データ作成

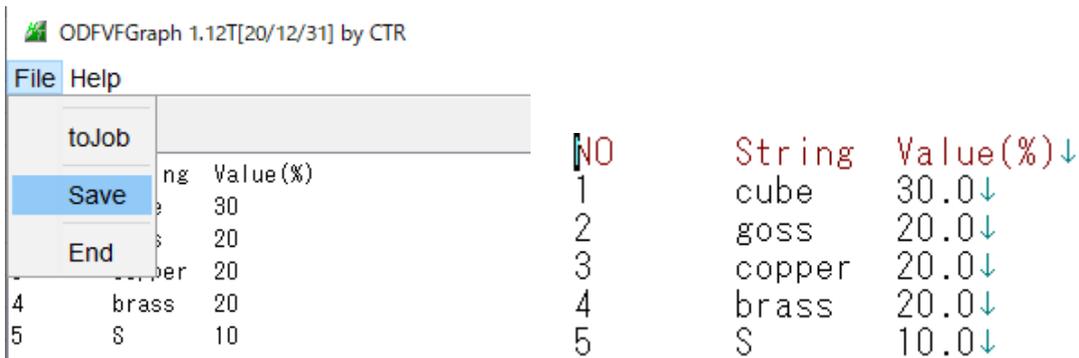
ODFVFG r a p hをDispに切り替えデータを入力して作成します。



データ入力（区切り文字はt a b）し、Dispでグラフが表示される



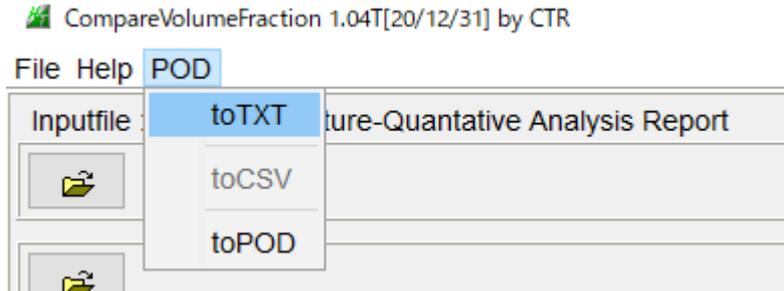
s a v eでファイルを作成



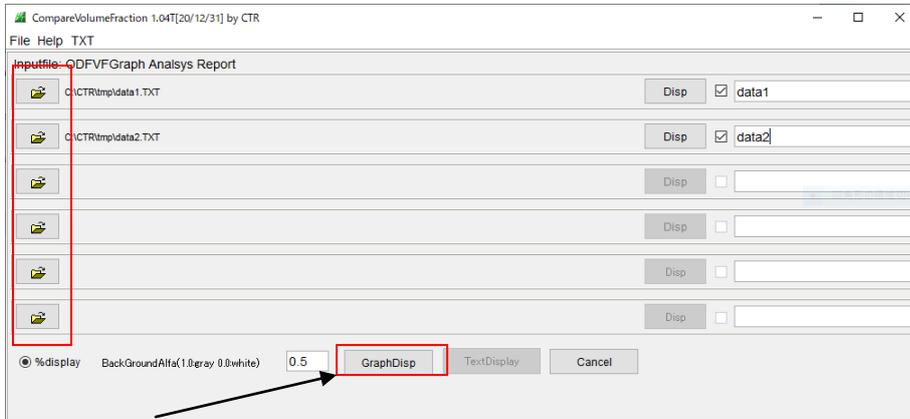
s a v eされるデータ

## 5. 2 データ入力

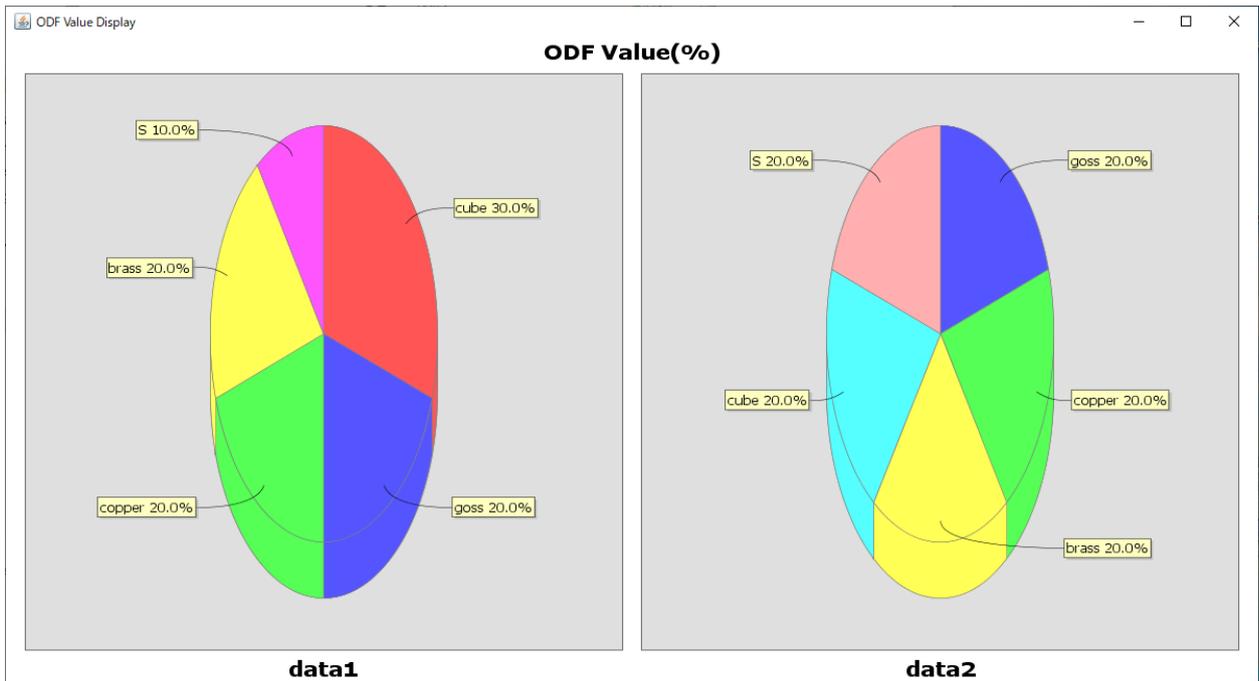
POD → TXT に切り替え



データを選択



Graph を表示する。



NO	String	Value(%)↓
1	cube	30.0↓
2	goss	20.0↓
3	copper	20.0↓
4	brass	20.0↓
5	S	10.0↓

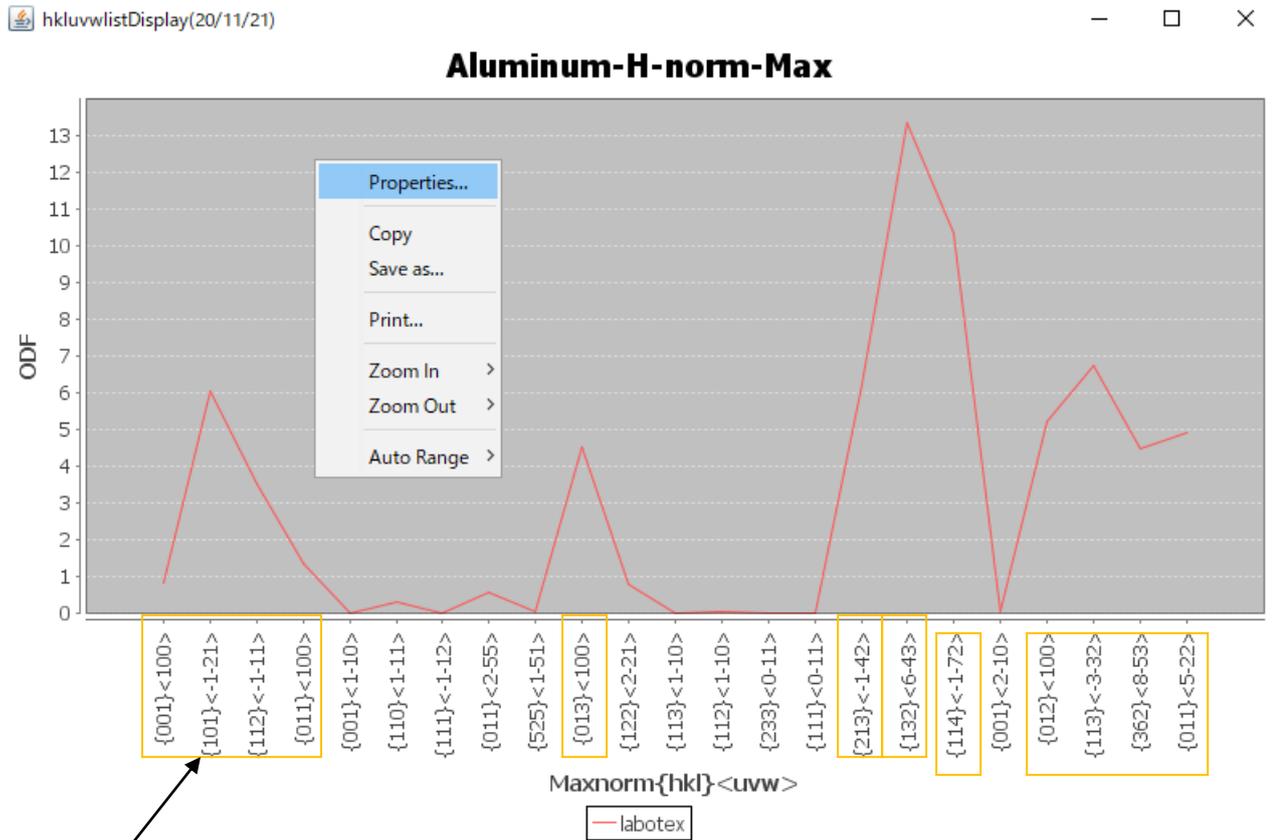
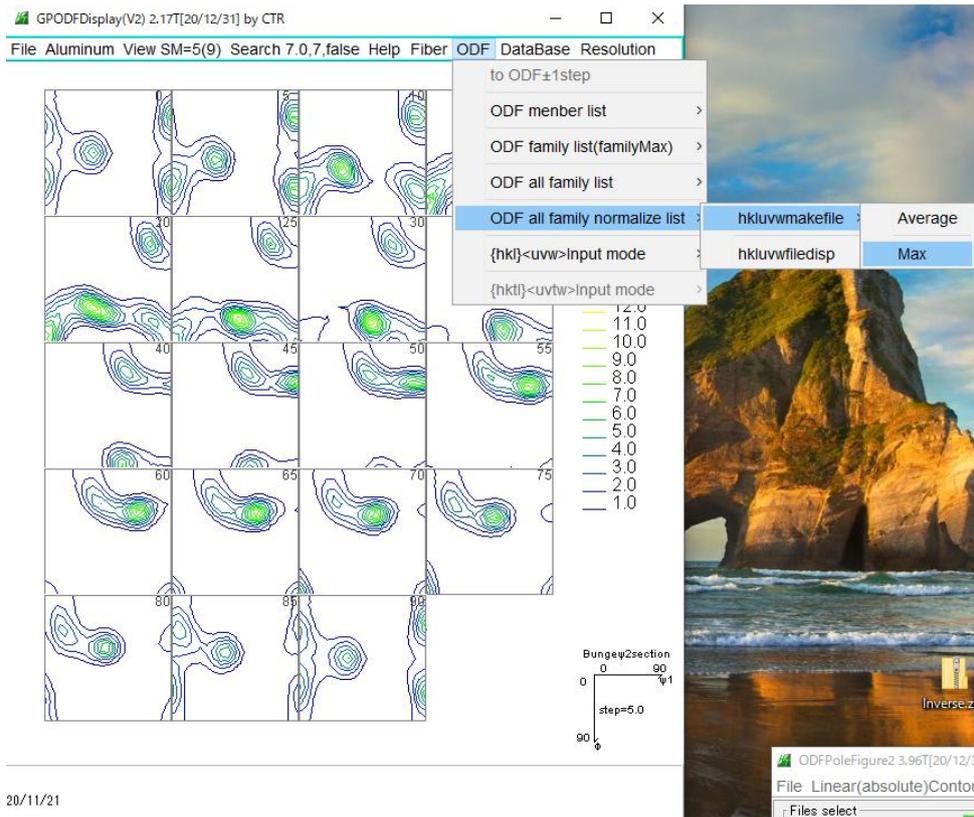
NO	String	Value(%)↓
1	cube	20.0↓
2	goss	20.0↓
3	copper	20.0↓
4	brass	20.0↓
5	S	20.0↓

%を含め、表示するStringが同一の場合、相に対して同一色になります。

## 6. GPODFDisplayデータを入力

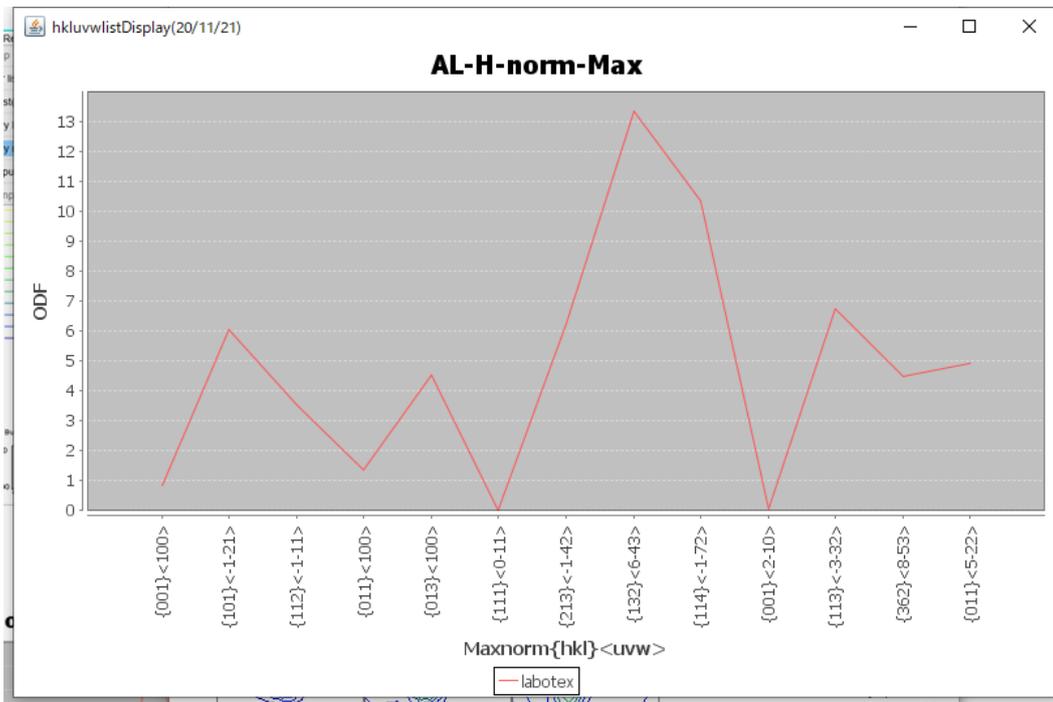
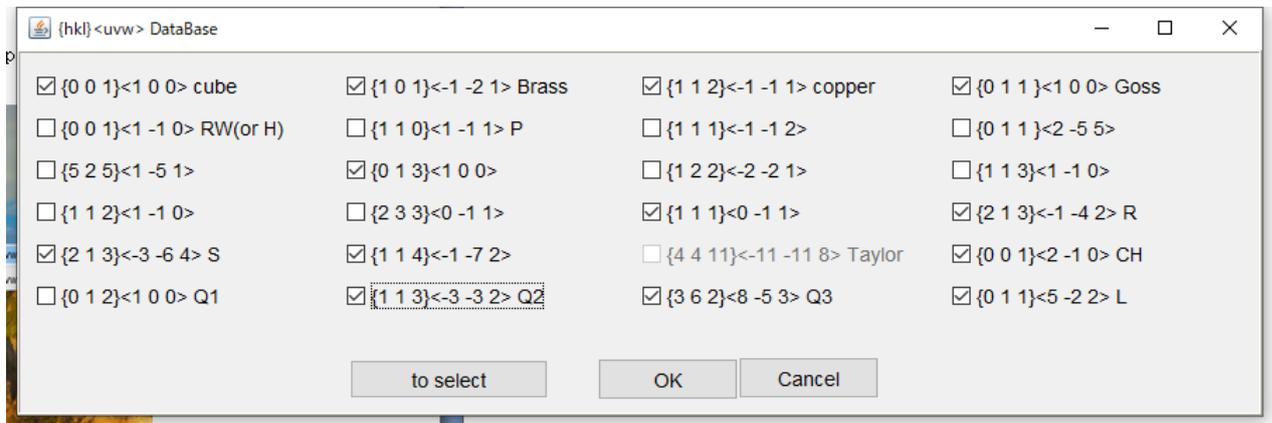
GPODFDisplayは各種ODFソフトウェアでExportしたODFを表示します。

### 6.1 データの選択

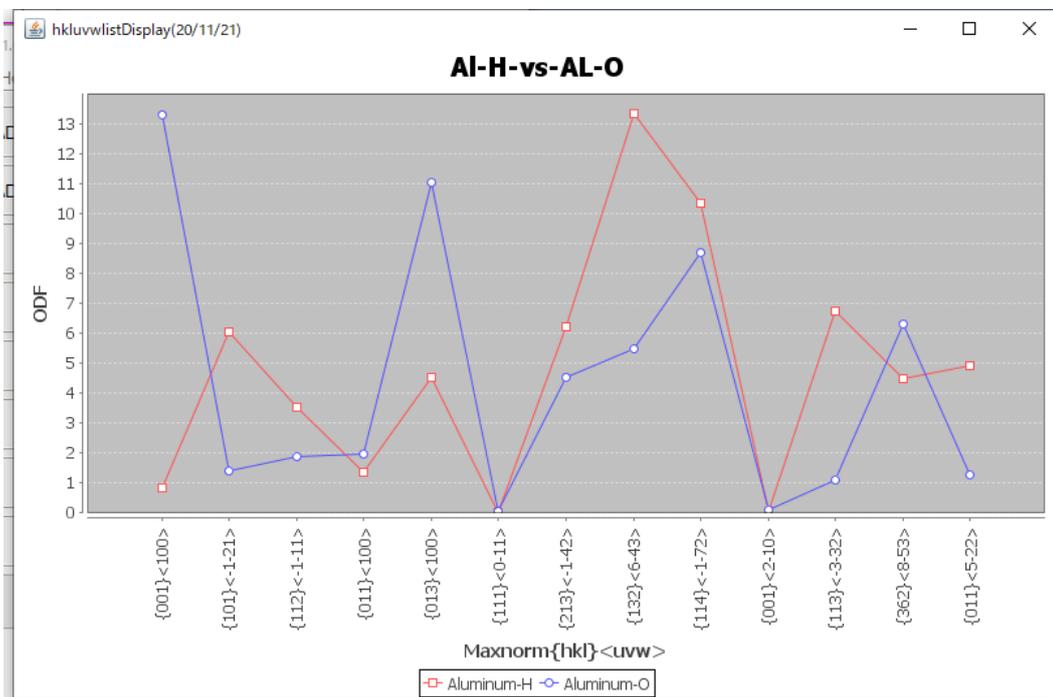


選択

表示する方位を選択

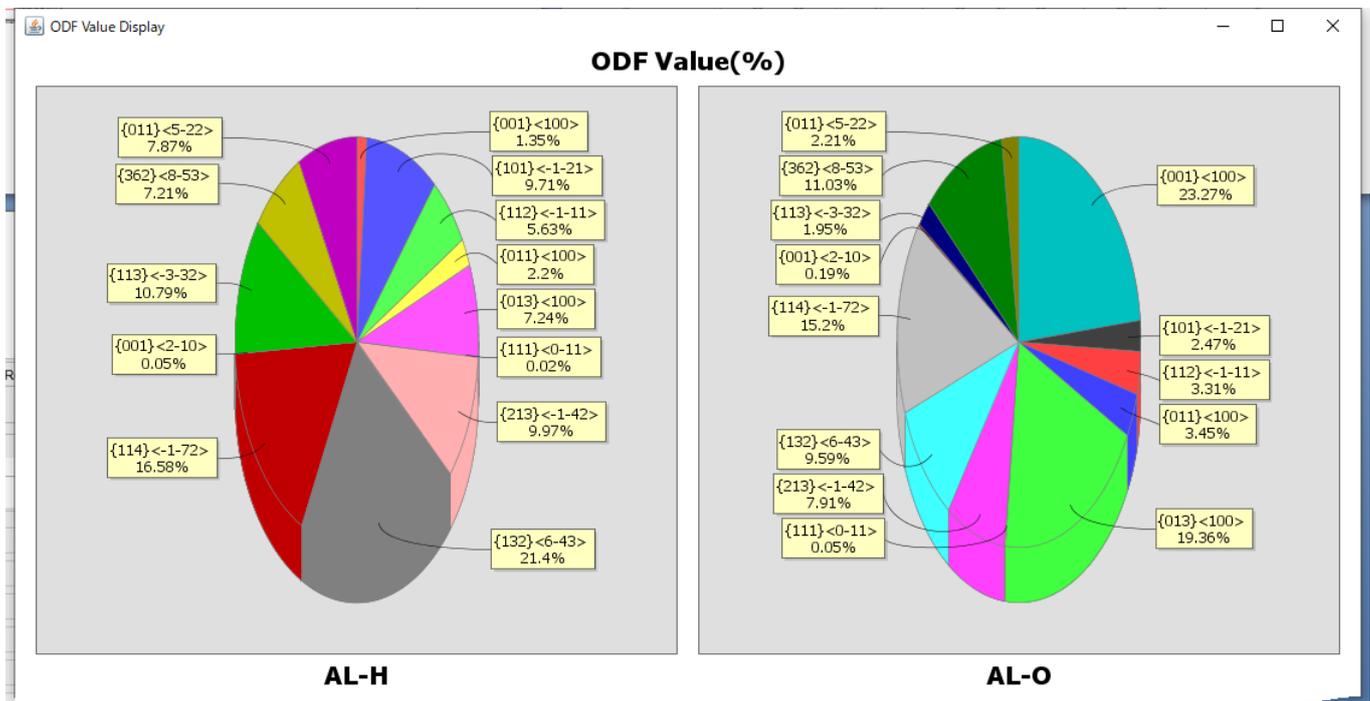
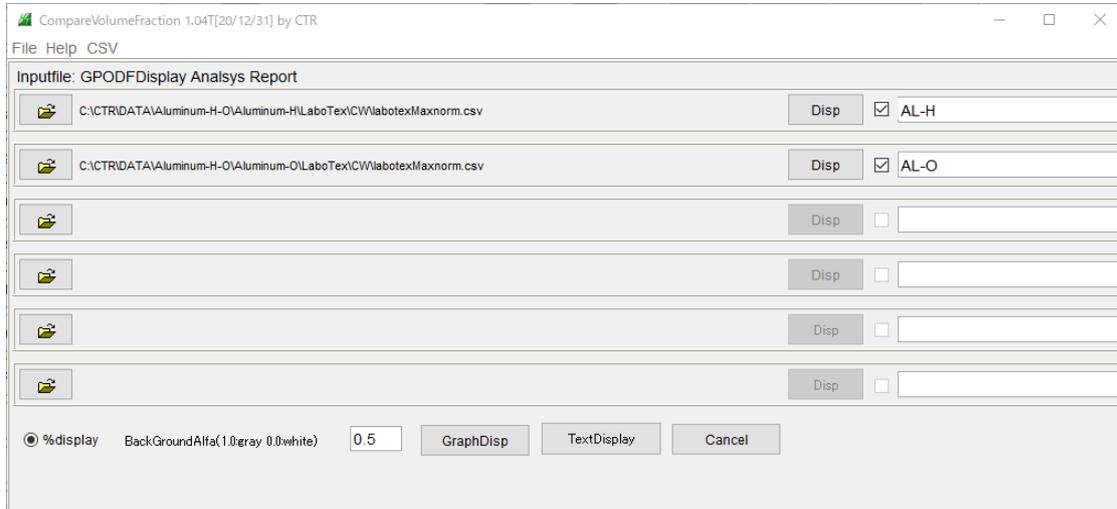
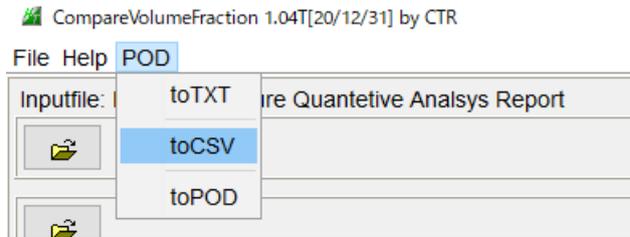


参考にAL-Oを追加

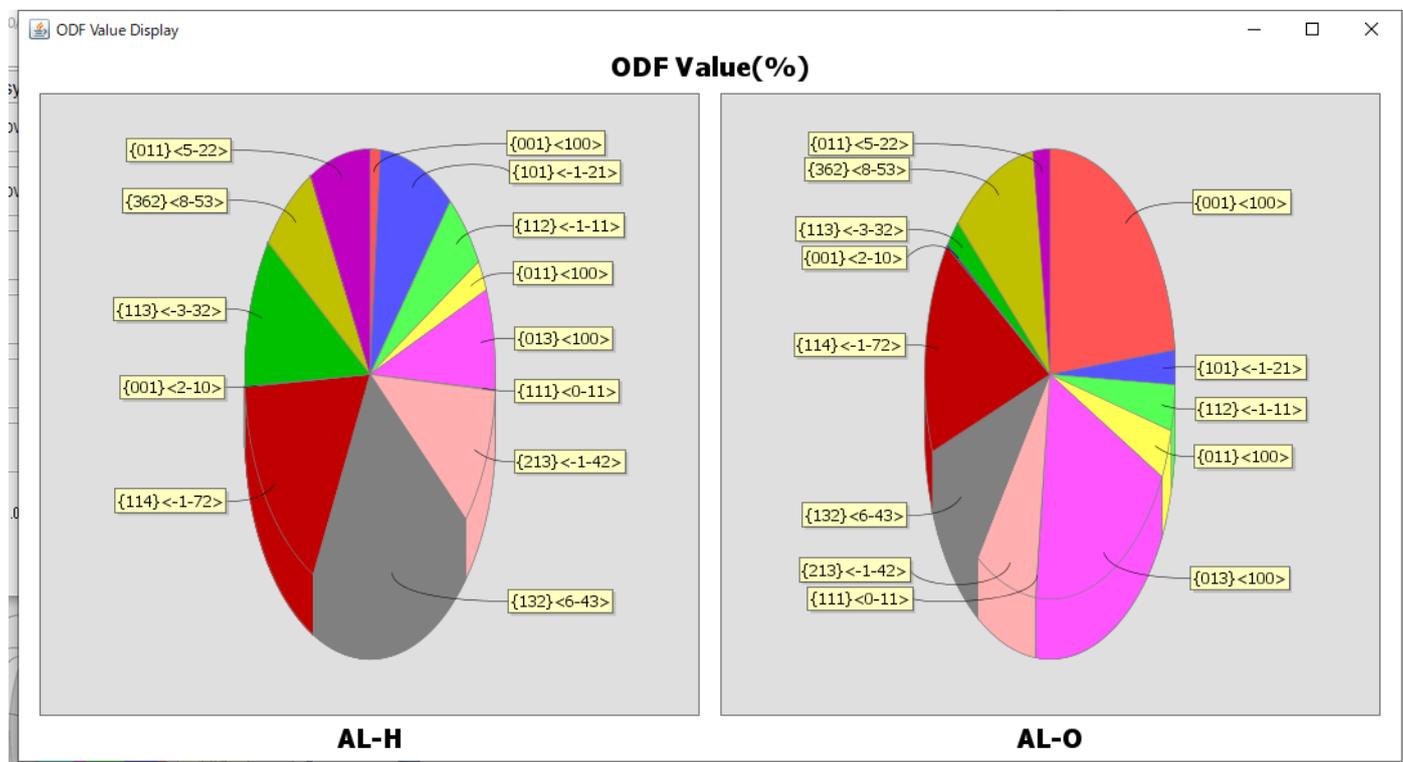


上記データを円グラフで表示

## 6. 2 データ入力



比較する色分けはStringが異なるので、無視されています。  
%表示なしでは方位分けで同一色になりなります。



表示は方位密度から%に変換し表示しています。

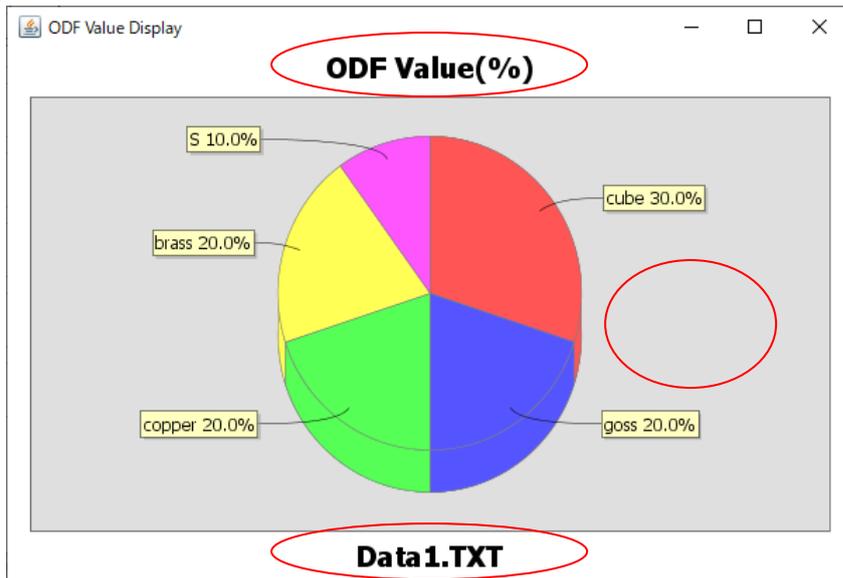
入力データ (AL-H)

AL-O

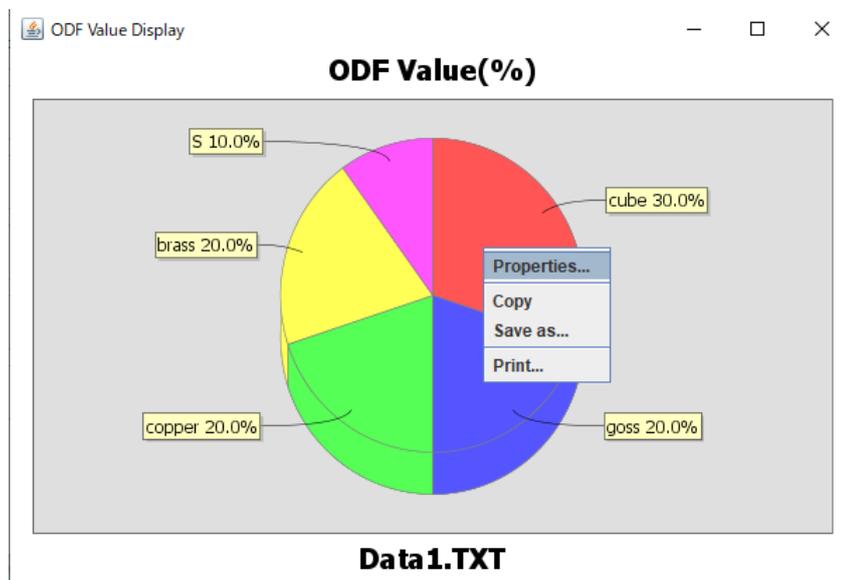
```
Maxnorm[hkl]<uvw>, labotex↓
{001}<100>, 0.84↓
{101}<-1-21>, 6.05↓
{112}<-1-11>, 3.51↓
{011}<100>, 1.37↓
{013}<100>, 4.51↓
{111}<0-11>, 0.01↓
{213}<-1-42>, 6.21↓
{132}<-6-43>, 13.33↓
{114}<-1-72>, 10.33↓
{001}<2-10>, 0.03↓
{113}<-3-32>, 6.72↓
{362}<-8-53>, 4.49↓
{011}<-5-22>, 4.9↓
```

```
Maxnorm[hkl]<uvw>, labotex↓
{001}<100>, 13.27↓
{101}<-1-21>, 1.41↓
{112}<-1-11>, 1.89↓
{011}<100>, 1.97↓
{013}<100>, 11.04↓
{111}<0-11>, 0.03↓
{213}<-1-42>, 4.51↓
{132}<-6-43>, 5.47↓
{114}<-1-72>, 8.67↓
{001}<2-10>, 0.11↓
{113}<-3-32>, 1.11↓
{362}<-8-53>, 6.29↓
{011}<-5-22>, 1.26↓
```

## 7. 画面編集



タイトル変更とバックグラウンド色は、Chart Properties で変更



画面上を右マウスクリック

表示ファイル名は、CompareVolumeFraction 画面で変更

